



学校だより第9号

令和8年1月9日
発行
大阪市立大開小学校

「チームの輪」

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく願いいたします。

令和8年の干支は丙午（ひのえうま）です。60年周期の干支の中で43番目に位置し、『強いエネルギーで道を切り開く活気に満ちた年』とされているようです。また「午年」と書きますが、「午」という字は季節の移り変わりや農作業の節目、方角、時刻などを示すための抽象的な記号で、「動物の馬」という意味はありません。しかし、抽象的な記号のままでは覚えにくいいため、人々から馴染み深かった馬が割り当てられたそうです。馬は躍動感や行動力、俊敏さの象徴とされています。また、健康や豊かさ、幸せを運ぶ動物としても親しまれてきましたので、新しい挑戦や発展を願う縁起の良い干支です。

実際にどんな年になっていくかは、結局のところ自分次第ですが、子どもたちには、今年も様々なことに挑戦し、大きく成長する1年にしてほしいと願っています。

昨年末、その年を表す漢字として「熊」が1位となりました。2学期末の終業式で子どもたちに「皆さんにとっての今年の漢字は何ですか」と問いかけたところ、終業式後に高学年の子どもが「私は友達と楽しく過ごせたから『嬉』という漢字です」と教えてくれました。きっと充実した日々を過ごしてくれているんだな…と私も嬉しくなりました。

さて、世界を舞台に活躍し、惜しまれつつ現役を引退された車いすテニスの国枝慎吾さんは、自身の強さについて「一人では絶対にここまで来られなかった」と語っています。コートに立つのは一人ですが、その背後にはコーチ、トレーナー、用具担当、そして家族という強固な『チームの輪』がありました。

子どもたちの成長も同じだと思います。学習や運動など表舞台で頑張るのは子ども自身ですが、その後ろには常に温かく支える保護者の皆様と、私たち教職員の「輪」があります。一人の力では難しいことも学校と家庭、そして地域の皆様と輪になって知恵を出し合えば乗り越えられることがあります。子どもが壁にぶつかったとき、一人で悩ませるのではなく、「あなたを支える輪がここにあるよ」と伝えられる存在でありたいと思います。

保護者の皆様という心強い「輪」に支えられながら、教職員一同、子どもたちの成長を全力で支えてまいります。今後とも、温かい「輪」の一員として、見守りとお力添えをいただき、子どもを支える最強のチームであり続けられますよう、よろしくお願いいたします。